# 坂和総合法律事務所

# 事務所だより

第5号 2005 (平成17) 年盛夏号

編集·発行:**坂和総合法律事務所** 

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号 西天満コートビル3階

TEL06 (6364) 5871 • FAX06 (6364) 5820

メール office@sakawa-lawoffice.gr. ip

http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp



夏の暑さにも負けず、 弁護士として、また映画評論家「SHOW-HEY」として エネルギッシュに活動中! 弁護士登録から31年、「まだまだやるで!がんぱるで!」と 愛車(?)の「足路み二輪ベンツ」で裁判所に、映画館に、 試写室に、フィットネスに、通う毎日です。



坂和総合法律事務所の職員です。 (金子・細谷・松下・永田・坂和・有村・嶋津・稲井・善波) 今年の夏も坂和台風(?)は吹き荒れそうですが、 「真面目に一生懸命」をモットーに、みんなでがんばります。

# 暑中お見舞い申し上げます。

もう1つの注目点は、8月15日の終戦記念日を軸とした靖国参拝問題と日中・日韓問題のあり方です。これについても、今年こそ本音の議論の深まりを期待したいものです。

こんなことを考えながら、私は今年も「オレ流」を貫き、「仕事」(弁護士業務+都市問題+講義・出版)に「遊び」(映画+フィットネス+旅行)に充実した毎日を過ごしています。

7月25日に実施した第4回天神祭懇親パーティーのホットなニュースを含めた盛りだくさんの事務所だよりを一種の清涼剤として活用していただき、戦後60年の記念すべき夏を乗り切っていただくことを願っています。

2005(平成17)年盛夏 坂和総合法律事務所 所長 弁護士 坂 和 章 平

#### 事務所の近況報告

#### 1. 天神祭懇親パーティー開催(嶋津レポート)

昨年は日曜日だったので、1回お休みしましたが、 今年は2年分を楽しもうと大盛会でした。

今年のパーティーのテーマは「芸術の夏」ということで、皆様には坂和の美声(?)と映画評論家「SHOW-HEY」を目一杯楽しんでいただきました。

#### (1) 芸術の夏 その1~坂和の美声(?) 編

坂和の美声(?)と聞いて、またカラオケ大好きの 先生が「あゆ」だとか「shela」だとかイマドキのは やりの歌を披露したのだろうと思われた方もいらっ しゃると思いますが、いくら歌に自信がある(?)坂 和といえどもわざわざお暑いなか集まっていただい た皆様にそんな既成曲で楽しんでいただけるとは思 っておりません。既成曲ではない・・・ということは (?)。そうです。カラオケの部屋(7頁)にも書き ましたが、坂和との会話をヒントに嶋津が今の若者た ちへの思いを詞にしたものに歌手のう~みが手を加 え、美しいメロディーがつきステキな歌が完成したの で、そのお披露目をしたのです。全3回公演は「ブラ ボー」の声がかかり、最後には一緒に口ずさむ方まで。 これには坂和も嶋津も大感激でした。もちろん坂和の 歌の後はお口直し(?)、メインディッシュ(?)と して、う~みさんが『涙そうそう』『さとうきび畑』『浜 千鳥』『ふるさと』など心にしみる歌声を聴かせてく れました。

### (2) 芸術の夏 その2~『カーテンコール』編

今や坂和といえば、弁護士業だけではなく、映画評 論家としても大活躍。そんな坂和がこの秋、お薦めす るのが『半落ち』『四日間の奇蹟』などの佐々部清監督 の『カーテンコール』(秋田光彦原案、出演 藤井隆、 鶴田真由ほか)です。この映画の原案を出された秋田 氏は現在は浄土宗大蓮寺の住職で應典院の主幹として 活躍されていますが、坂和とはまちづくりと映画を通 じて親交があり、その縁で坂和は『カーテンコール』 の応援副団長の大役を仰せつかることになりました。 そんなわけで、皆様には予告編のビデオを観ていただ き、秋田さんから映画の説明をしていただきました。 応援副団長だからではなく、正直にはっきり物を言う 坂和が「この映画は本当にいい。涙があふれ温かい気 持になる映画だ」と自信をもってお薦めしています。 物語は昭和の映画全盛の一時代、映画と映画の間にさ さやかな芸をして楽しませてくれる芸人(幕間芸人) の人生をひもときながら家族について考える作品です。 是非たくさんの人に観ていただきたいと思いますので、

興味がある方は劇場に足を運んで下さい(10月公開予定)。前売りチケット(一般1,300円、シニア(60歳以上)1,000円)をご希望の方は当方までご連絡下さい。『カーテンコール』のホームページもご覧下さい。

http://www.curtaincall-movie.jp/

#### (3) あっという間に

楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、いつもの 顔、懐かしい顔に囲まれ、普段のこわ~い坂和はどこへ やら、終始ごきげんな坂和に事務員もホッと胸をなでお ろし、坂和事務所の楽しい夏のイベントは終幕を迎えた のでした。来年もたくさんの方の参加をお待ちしていま す。

#### 2. 都市づくり関連はますます多種多様に(金子レポート)

- (1) 今や都市問題の「専門家」となった坂和事務所では都市問題関連の事件がいっぱいです。 0 1 年 3 月から続いていた久居再開発の調停事件は 0 4 年 6 月、調停成立によって「解決」しましたが、岡山県津山市のアルネ津山再開発における賦課金をめぐる総会決議無効確認訴訟と約 2 億円の売買代金等請求訴訟については、0 5 年 1 月、岡山地裁は完全勝訴の判決を下しました。これに対して相手方は控訴していましたが、控訴審判決が9 月 1 日に下されます。
- (2) また、今年4月には千里ニュータウンの桃山台第2 団地のマンション建替えをめぐる事件を受任しました。 5分の4以上の区分所有者で建替え決議をしたものの、 その事業がマンション建替え円滑化法にもとづくマンション建替え組合による事業ではないことが大問題として、 一人の区分所有者の依頼を受けて闘っているものです。 本来は「多数派工作」を中心とした事件になるべきものですが、依頼者との固い信頼関係を基礎に弁護士費用を 度外視した問題提起と具体的解決を狙っています。
- (3) また、職員「厚遇」問題で揺れている大阪市と坂和は、阿倍野再開発訴訟を通じた長い「因縁」ですが、借家人としてパチンコ店を経営している依頼者の土地が収用されたことに伴って、都市再開発法における借家人の権利の保障と土地収用法における明渡裁決との間の「矛盾」を巡って収用委員会を舞台として展開している難しい法律論はまだまだ続きそうです。
- (4) 弁護士としてはめずらしく再開発コーディネーター協会の正会員になっている坂和は、今その法制検討部会に参加して、意見集約をめざしています。「破綻する都市再開発」が大きな社会問題となっている昨今、少しでも坂和の知識と経験を役立てたいものと考え頑張っているようです。

### 坂和弁護士の近況報告

- (1) 今年の夏は関西学院大学法科大学院での 2回目の都市法の集中講義。土曜日毎に4コ マずつ4回やりますが、今年の受講生は昨年 の4名から62名へ急増したため責任重大! その教科書は当然、私の大著『実務不動産法 講義』。詳細なレジメとともに院生たちに熱く 語りかけるつもりです。
- (2) 次々と出版される『SHOW-HEYシネマルーム』は、一方でイヤがっている人もいる(?)ようですが、他方では、それを楽しみにしている人もたくさん・・・?その人たちのために、今後も次々と続けなければ・・・。昨年は1年間で186本でしたが、今年は7月25日時点で既に123本。昼間、試写室でよかけもちという日もチラホラ・・・。こうなると、「お前はホントに弁護士の仕事をしているのか?」と言われそうですが、不思議なものでそこはきっちりと・・・。
- (3) 今年1月からは私の故郷、松山の地元紙である愛媛新聞の一面大型コラム『道標』への寄稿が始まりました。5人のローテーションなので、私は10回分を担当しますが、映画、法曹界、都市問題、景観法など面白いテーマで書き続けています。産経新聞の『That's なにわのエンタメ』への映画評論の寄稿とともに月1回、楽しく「義務の履行」を果たしています。
- (4) コンピューターの「オービック」は長いつきあいのある私の顧問会社ですが、そのオービックの本社ビルが東京駅近くの日本橋に完成し、2月22日、その披露パーティーが開催されました。テレビでおなじみのとおり、オービックのイメージキャラクターはゴルフ世界殿堂入りを果たした青木功プロ。そんな青木プロと並んで撮影したのが次頁の写真。近くで見ると何とガッチリした体格だとビックリ。青木プロと握手したことによって、私のゴルフの腕前も上達するかも・・・?
- (5) 日・祝日のフィットネスクラブ通いは順調で、日曜日の午前中はスイスホテルのフィットネスクラブで『政治討論会』『サンデープなどをまり、1回、1000円のでは、1000円のでは、1000円のですが・・・。また、車を手離した不便とはでいるはですがっての試写室・映画館通いはます。これの努力は地球の温暖化防止にも確実に役立っているはず・・・。
- (6) 坂和弁護士にインド人の5歳の女の子「デ ビッド,レイチェル」が誕生しました!といっ てもそれはいわゆる「里親」のこと。新聞記

事で知ったNPO法人ワールド・ビジョン・ジャパンがやっているチャイルド・スポンサーシップは、月4,500円の支出によって1人の貧しい子供を支援するという制度。それだけのお金で1人の子供に食料や教育の可能性が広がるのであれば・・・と思ってすぐに申し込みをしました。この地球上には貧しい子供たちがいっぱい。豊かでもるのかということをあなたも真剣に考えてみれば・・・?

#### 坂和宏展(ひろのぶ) 修習奮闘記

- 坂和弁護士の長男、宏展です。私は現在59期 (1) 司法修習生として、一人前の法曹になるため日夜 勉強に励んでいます。司法修習とは、司法試験に 合格するまでの法律解釈の勉強とは異なり、弁護 士・裁判官・検察官として実際に働くための実務 的な基礎知識や技術を身に付けるための勉強をす るもので、来年からの修習期間短縮(現在の1年 6月から1年4月、さらにはロースクール制度の 整備にともない1年)の影響もあり、かなり圧縮 したカリキュラムで高速進行しています。大変で すが知的好奇心を刺激される毎日です。また、修 習には実に様々な経歴を持つ人が大勢来ており、 平凡な学生生活を送っていた私としては、これま でにない刺激を受けています。この修習ライフを 楽しむことができるだけでも、司法試験に合格し た意味があったというもの。できるだけ多くのも のを吸収して、成長していきたいと思っています。
- (2) ところで、私はこれまで実家を離れたことがなく、この4月以降はじめての東京生活ということもあり、生活環境は一変なく、は苦手ではないの東京生活環境はではないの東京生活環境はではないのです。ともというとはではないのからです。ではないのがよりではいるではいるにはいるではいるがありです。という人はいばです。という人はいばです。という人はいばです。という人はいばです。というというといるないのがよいな食生活を関するのではありませんのでないるのです・・・。
- (3) もちろん、父親・坂和弁護士にとっても息子と離れて生活するのははじめての経験。そのため、先生が寂しがっているとの噂もちらほら東京に聞こえてきます。それを裏付けるように、坂和弁護士は東京に出張する機会があると、私を含めて修習生を集めては「飲み会」を開催。そこで坂和節?を聞かせては上機嫌で大阪へ帰っていきます。実家や事務所ではどんな変化がみられるのか、東京の息子は興味津々。皆さん、最近の坂和弁護士の調子は如何でしょうか・・・?



2月22日、 オービック本社ビル披露パーティーにて 青木功プロと

台湾(台北・高雄・台南・日月潭) 旅行記(3月13~16日)

#### く台湾旅行と反国家分裂法>

- (1) 2000年8月の大連・旅順・瀋陽への初の中国旅行以降、01年8月の西安・敦煌・3年11月の北京、04年3、4月の杭州・紹興・烏鎮、04年6月の桂林・深圳、広州、区中国への旅行が続いていたが、今年11月の雲南省の西双版納・昆明・今年、と中国への旅行が続いていたが、今月には初の台湾旅行へ。これは昨年10月接の方法試験に合格し、4月からは可法会がはじまるため、3月しか家族旅行がで子は関大の3回生となり、5月に短答を表明ないたの3回生となり、5月に短答を表明なるためパス。そのため、珍しく長男宏展との家族3人旅行となった。
- これを決めたのは昨年12月だったが、そ (2) の時点での日中対立のネタはサッカーのアジ アカップでの中国人サポーターによるブーイ ング騒ぎ程度。しかし「その日」が近づくにつ れて大問題となったのは、3月5日から北京で 開催された第10回全国人民代表会議で成立 が予定された「反国家分裂法」の行方。今年7 月の時点では、郵政民営化法案を巡る小泉内閣 VS自民党抵抗勢力の対決と小泉総理の靖国 参拝問題を巡る日中対立は一層その厳しさを 増しているが、3月の時点では反国家分裂法の 行方が焦点。私たちの台湾旅行は3月13~1 6日だったが、全人代で反国家分裂法が成立し たのが3月13日。そのため翌14日に台湾で 見た新聞は、全面その記事で埋めつくされ、直 ちに抗議のための100万人デモが発表され た。そんな中、私たちは超ハードな高尾・台南・ 台中・台北を巡る旅行を続け、写真を撮りまく った。

- ガイドは私と同じ1949年生まれの男性 で、父親が元日本海軍軍人だったという超親日 派!「台湾は中国の世話になったことはない、 逆に日清戦争終了後、台湾は日本の恩恵を多大 に受けている」という立場から台湾の歴史を熱 っぽく語ってくれた。17世紀、台湾をオラン ダの支配から開放した中国(明)の英雄、鄭成 功や『宋家の三姉妹』(97年)でも印象的に 描かれている蒋介石の物語などは実に興味深 いものだった。他方、がっかりしたのは故宮博 物館。ここには蒋介石が中国本土から運んでき た高価な宝物の数々が展示されているが、残念 ながらそれは印や装飾品など小物を中心とし たもの。考えてみれば、大きな品物は運び込む のに大変だから、金目の物で小粒の物を優先し たのは当然・・・?
- (4) 台湾旅行から帰った後の4月から次々と発生した反日デモにはビックリだし、今や日本の国連安全保障理事会常任理事国入りを巡記記申対立も激化。さて今年8月15日の終戦記念日はどうなることやら。また私が200年の月に見学した瀋陽にある9.18記念館で開かれるはずの対日抗争勝利60周年の記念集会もどうなることやら・・・? 猛暑をさらに長がれば、2008年の北京オリンピックや2010年の上海万国博覧会は・・・? 猛撃をおいるでは・・・?

#### 写真で巡る台湾旅行記



台中郊外の景勝地、日月潭にある 巨大な文武廟をパックに。(3/14)



台北にある故宮博物館の前で愛する賽員子と長男宏展と 一緒にハイチーズ! (3/15)



台北の中正記念堂にある巨大な蒋介石のブロンズ像。 倫理(民族主義)、民主(民権主義)、科学(科学的民主主 義)の三民主義が・・・。(3/16)

出張中の新幹線の中でひそかに練習した成果を披露。何ごとも一生懸命な坂和弁護士は歌にも一生懸命で

愍情豊かに(?)歌いあげました。



台中の宝覚寺にある名物の巨大な布袋さまをパックに はしゃぐ(?)坂和弁護士(3/16)

# 



『カーテンコール』の応援副団長の特権(?)で 出演女優の鶴田真由とお友達になれるかもとひそかな期待をしていることを 秋田さんに暴露され、苦笑い(?)の坂和弁護士。 №



いつもステキな歌声を聴かせてくれ「う~み」さんですが、 『涙そうそう』を手話付で聴かせてくれました。 🕅

天神筋町振興町会会長さんから天神祭についての講義を受けました。 天満宮の扇子をいただいた坂和からは御祝儀も・・・。



#### 事務局長のひとりごと (嶋津淳子)

- (1) 坂和事務所では、「坂和vs事務局(長)」や「坂和vs依頼者」はおなじみの光景だったが、最近は「坂和vs事務局長」はあまり見られない光景だ。細木数子氏の六星占術によれば、水星人の坂和と金星人の嶋津の相性は最高によい(?)(ちなみに坂和の奥さんと、私と同じくらいなが~く事務所にいる細谷も金星人なのでこの2人と坂和の相性も抜群らしい)とのことで、そのせいかもしれないが、最大の理由は他に共通の「強敵」が現れたためだ。
- その「強敵」とは「イマドキの若者」事務局員。私 だって新入りの時は先輩方に「えっ!こんなことも知 らんのか?」という顔をされたり失敗も数々したが、 イマドキに比べるとかわいいものだったはず。イマド キの若者は、①ホッチキス、カッターナイフがうまく 使えない、使い方を知らない、にはじまり、②朱肉と スタンプ台の区別がつかない、③返信用のハガキなど ○○「行」を「様や御中」に訂正しない、④使ったら 使いっぱなしで片づけができない、⑤Aの作業中、B のことを言われるとAは完全に忘れてしまう、⑥Aと 言われるとAしか見え(て)ない、⑦「内容証明は何 部コピーが必要?」と質問したのに「3部ですか?」 と質問が戻ってくる、⑧ついさっき(数分前)教えた ことを覚えていない(私が認知症になったのかと不安 になるほど見事な「私知りません」という表情を浮か べる)、⑨工夫ができない(私なんて貧乏だったから 輪ゴム1本で数種類の遊びを考えたのに)、⑩「ハ イ!」と返事はいいが、返事だけ、もしくは返事もし ない、などなど。極めつけは⑪電気ポットに洗剤をい れて水をかけてジャブジャブ洗おうとした、①「先生 の映画の本を会議室に並べといて」という指示に会議 室のテーブルー面に1冊ずつ本が並んでいてテーブ ル一面が坂和弁護士の顔になっていた(これは私が 「会議室のテーブルに先生の映画の本を10冊位積 んでおいて」と指示しなかったのが悪かったのかもし れないが・・・)。
- (3) しかし彼ら彼女らが悪いわけではない。これまで習ったことがないから仕方がないのだ。そうはいっても、ついつい声が大きくなる。彼らにしてみれば、常に監視され、手を動かすたびに坂和や嶋津の怒鳴り声を浴びては、たまったものではないだろうが、少しずつでも成長はしていくもの・・・。しかし残念なことに「ちょっとマシになったな」と思った頃に「辞めます」となる。これは「マシ」になったため冷静な判断(?)ができるようになったせいかもしれないが・・・。
- (4) 5月末に退職したT君もそんな一人だった。彼は人を怒らせる才能(?)がある。怒られて神妙な顔をしているのでわかったのかと思ったら全然わかっておらず「怒鳴るのに費やした私のエネルギーを返せ!」と更に大目玉!人を指導するのは難しいなと思い知らされた。しかし退職後、感謝の手紙が届き、そこには少し成長した彼がいた(2頁に書いた歌のモデルは実はこのT君)。「もう少し辛抱してくれてたらな〜」と思うが、彼からは「もう少しやさしくしてくれてたらな〜」と思うが、彼からは「もう少しやさしくしてくれてたらな〜」と返ってくるだろう。怒鳴ったり叱ったりは愛情表現なんだけどなぁ〜。どなたか「若いうちの苦労は買ってでもしたい!しごいて下さい!」という根性のある人を知りませんか?
- (5) 最後に、10 月には 58 期修習生の寳谷(ほうたに) 英一が入所する予定ですので、よろしくお願いします。

#### 事務局次長 金子の奮闘記(金子友次朗)

- (1) 事務局長vsイマドキの若者の闘いを見ながら、1 月に生まれたわが子には、「イマドキの若者には珍しく・・・」と言われるように最低限の社会常識をきちんと教えることを心に誓う金子です。こんな「傍観者」的なコメントをすると「おい!金子!事務局次長としてきちんと指導せんかい!」となるのは明らかで、私自身が「イマドキの若いもんは・・・」と言われないように気を引き締めなくてはいけません(もう若くないくせに!という事務局長の追いうちの声が・・・)。
- (2) さて、今回の奮闘記のテーマは「坂和流執筆活動を通じて得たもの」です。映画評論家坂和による『シネマルーム』シリーズの執筆・出版の加速化は皆様すでにご存知のとおりですが、最近は本業(?)の弁護士にふさわしい法律書や論文の執筆活動も加速しています。すなわち坂和弁護士は、04年11月出版の『Q&Aわかりやすい景観法の解説』に続き、05年4月出版の『実務不動産法講義』を執筆したほか、①「景観法の解説(1)(2)」(『市民と法』No.32・33に登載)、②「景観法の論点・課題についての一考察」(『稲本洋之助先生古希記念論文集』に登載予定)という景観法に関する論文を2本執筆しました。
- (3) 私は、これらの執筆活動において、1次原稿のパソコン入力作業を担当しましたが、人にその仕事を説明する際、簡単に「本書くのを手伝ってるねん」と言うと「ゴーストライターなん?」と聞かれます。しかしそれは違います。坂和流の「本の書き方」は、
  - ① 坂和によるラフ原稿作成
  - ② 事務局員による1次原稿のパソコン入力
  - ③ 坂和による1次原稿の推敲・加筆
  - ④ 事務局員による1次原稿の訂正(2次原稿のパソコン入力)
  - ⑤ ③④をくり返して原稿完成

という過程になっていて、私は主に②の作業をしているのです。これは、参考文献や資料によって①の坂和ラフ原稿(落書き?)を補強し、具現化する作業です。そして実は、この作業を通じて勉強できることがたくさんあり、私は法律の読みこなし方や最新の法改正などの法律問題だけでなく、現在の社会問題なども勉強しながら仕事をしているのです。

そうこうしているうちに、別の本の坂和ラフ原稿が 回ってきました。次は何の「お勉強」ができるのでしょうか?!

## 新入事務局員紹介(嶋津淳子)

私が今闘っている新入事務局員たちです。皆様もドンドンしごいてやって下さい。

- ★善波彩(ぜんばあや)・・・5月入所。怒鳴られながらも負けずにがんばっています。失敗を恐れずもっと積極的に動いてくれることを期待しています。
- ★稲井絵美(いないえみ)・・・7月入所。よくも悪くも無垢な状態の彼女。まずは「返事」と「電話とり」から、なが~い目で成長を待ちたいと思っています。
- ★有村吉博(ありむらよしひろ)・・・7月入所。3人の中では 一番積極的な彼。あせらず落ち着いて仕事をすれば、コ ピーが逆だとか、つまらないミスで怒られずにすむの に・・・(あせらせているのは私かもしれませんが)。

# [坂和総合法律事務所 業務時間ならびに周辺地図]



地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」徒歩5分地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」徒歩10分 JR東西線「大阪天満宮」徒歩6分

\*\*\*業務時間\*\*\*

平 日 午前9時~午後6時

土曜日 午前9時~午後3時

- ☆業務時間外の相談を御希望の方はお申し出下 さい。
- ☆相談にこられる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。
- ☆また相談内容のメモを事前にFAXもしくは メールにていただければ幸いです。

#### 坂和総合法律事務所フロアー案内

- 3 階 坂和総合法律事務所
- 201 坂和事務所会議室
- 401 オーナーズフロアー
- 1階玄関はオートロックですので、当事務所にお越し の方は「301呼出」を押して下さい。

## ● 坂和章平のカラオケ部屋 ●

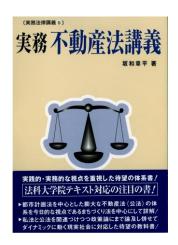
#### ひょっとして・・・?

03年の天神祭には、歌手の「う〜み」が登場して思わぬミニコンサートが開かれ、坂和弁護士の美声(?)も披露された。4月に韓流ミュージカル『ギャンブラー』を坂和弁護士と一緒に観たう〜みは、坂和弁護士による演劇評論を読んで、是非一緒に歌をつくろうということに。その話に乗ってきたのが、事務局長の嶋津。何とも悩まし気な歌詞をしたためたところ、う〜みも乗り気に・・・。ひょっとして、夢のコラボレーションが実現し、新曲が発表されるかも・・・?

#### 映画評論家 『SHOW-HEY』の部屋

- 1. 今年前半の感動作は、2月に観た『オペラ座の怪人』。劇団四季のミュージカルもよかったが、映画ならではの魅力を存分に発揮したこの作品は、「リピーター続出!」と宣伝されたとおりのすばらしさ。今でもよくその美しいメロディの数々が頭の中に・・・。
- でもよくその美しいメロティの数々が頭の中に・・・。 2. 6月に上映された『四日間の奇蹟』は、現実離れした物語ながら、下関の小島を舞台に展開される感動作。その佐々部清監督による『カーテンコール』は、應典院の秋田光彦住職が原案を書いたもので、今年秋の公開。私はその「応援団」の副団長として現在奮闘中。吉永小百合と橋幸夫が歌う『いつでも夢を』のメロディにのせて語られる幕間芸人の物語は、日韓を股にかけた涙を誘う感動作。あの元気だった数々の「昭和の映画」を思い出しながら楽しみたいものだ。
- 3. 7月9日には戦後60年を記念して「シネ・ヌーヴォ」で開催された五味川純平原作、仲代達矢主演の『人間の條件』全6作、9時間38分一挙上映を観た。弁護士登録数年後にも、オールナイトでの一挙上映を観たし、小・中学生時代にも1本ずつ観た記憶はあるが、あらためて大感激!日活のオールスター共演による山本薩夫監督の『戦争と人間』(70・71・73年)は、予算の都合等のために残念ながら3作で「完結」してしまったが、戦後60年の今あらためて五味川純平原作の『戦争と人間』の完全映画化を企画してもらいたいものだ。
- 4. 8月最大の話題は、阪本順治監督の『亡国のイージス』。『ローレライ』『戦国自衛隊1549』に続く福井晴敏の原作だが、「戦後60年」の夏は、この映画をネタに語り合いたいものだ。

# 出版物 (新刊) 紹介







ご注文は坂和総合法律事務所までFAX(06-6364-5820)もしくはメール (office@sakawa-lawoffice.gr.jp)にてお願いします。送料は実費をご負担いただきますのでご了承下さい。お支払は請求書を同封しますので、銀行振込にてお願いします。

#### 『実務 不動産法講義』(民事法研究会)

定価5300円(税別)

今年4月、法科大学院(ロースクール)用のテキストに対応した「実務法律 講義シリーズ」全25冊のひとつとして『実務不動産法講義』が民事法研究会 から出版されました。弁護士業、映画評論家業(?)の他、愛媛大学や近畿大 学そして関西学院大学法科大学院で法曹界を目指す学生たちに対して「都市法」 を講義する中、複雑で難解なわが国の都市法や不動産法に興味をもち、これを 理解してもらうことに大いに苦労を重ねてきたところ、今回、この本の執筆の ために正月休みも返上して改めて勉強し直して完成させた自信作です。不動産 法全般について、私法と公法の両方にわたって坂和なりの体系化をすることが でき、教科書としてもかなり質の高いものができたと自負しています。その内 容は、現時点における坂和流「不動産法体系」になっていますので、法科大学 院の学生のみならず、実務家の方々にも役立つものになっているはずです。

\* \* \* \* \* \* \* \*

#### 『がんばったで!31年

ナニワのオッチャン弁護士 評論・コラム集』(文芸社) 定価1600円(税別)

1974(昭和49)年4月、大阪弁護士会に弁護士登録をして以来、31年が過ぎました。坂和弁護士は最初の10年間は公害問題を、その後の21年間はまちづくり、都市問題をライフワークとして活動してきました。その活動の中でコラムや評論の形で社会に発信したメッセージはかなりの量となったため、「この際まとめて出版してみては?」との声に応え、完成しました。

坂和弁護士の青春時代から、まちづくり、都市計画についてのコラム・評論、映画評論、旅行記まで、まるごと坂和ワールドをお楽しみ下さい。

『サーロのナッチャン・分渉士 味恵を転る」

**|| けニワのオッチャン弁護士、映画を斬る!** 

SHOW-HEYシネマルーム6』(文芸社)

定価1800円(税別)

ご存じ、映画評論家「SHOW-HEY」の映画評論本の第6弾。今年5月、 文芸社から出版され、産経新聞や日本経済新聞でも紹介されました。

映画評論家としてのメジャーデビューも間近と夢が膨らむばかりです。

先生の書くペース、出版のペースが早すぎて・・・などと言わずに是非一度、 いえいえ二度三度とご購入、お読みいただき、「SHOW-HEY」節の大ファ ンになって下さい。

なお8月には皆様の期待に応えて『シネマルーム7』が出版される予定です。 出版されましたらいち早くご案内させていただきますが、首をなが~くしてお 待ちいただいている映画評論家「SHOW-HEY」ファンの皆様のためにご 予約も承りますので、同封の注文書にて是非。

\* \* \* \* \* \* \* \*

#### [その他のお薦め本]

愛媛大学法文学部での「都市法政策」の集中講義をまとめた『実況中継 まちづくりの法と政策』 I  $\sim III$  法曹界について坂和・吉岡・嶋津がそれぞれの視点で書いた『いま、法曹界がおもしろい!』

マンション建替え円滑化法を逐条ごとに解説する『注解 マンション建替え円滑化法』

景観法の条文にそってわかりやすく解説した『Q&Aわかりやすい景観法の解説』

映画評論家SHOW-HEYの初々しい処女作「シネマルーム I」や「シネマルーム  $\Pi$ 」「 $\Pi$ 」「 $\Pi$ 」「4」「5」も大好評 発売中です。

ご注文は同封の注文書で。お待ちしています。